

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あかしゆらんこクラブ		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 8日		2025年 10月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 12月 4日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な職員が揃っている(継続年数が長い)	子どもそれぞれのニーズに合わせて、個々に関わり支援している	
2	子どもが主体	子どもの気持ちを聞き、意見を取り入れたプログラムを実施している	職員研修を重ね、子どもの最善の利益を守る場にした
3	今回の報酬改定の内容を把握し、よりよい支援に繋げている	子育てサポートの時間を有意義なものにしている 専門的支援計画を作成し専門的支援を実施している	職員研修をさらに進めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	車による送迎を実施していない		必要に応じて可能な範囲内での徒歩による送迎で対応している。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		あかしゆらんクラブ				公表日		2026年 2月 5日			
		利用児童数				15		回収数		14	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14				こどもが小さいので1対1の対応をしていただきありがたいです。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	1	1	建物の2階にあるため階段を利用しなければならない。	必要な場合には、階段の上り下りを職員が手伝ったりしている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14								
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13			1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				計画書は分かりやすく説明も丁寧に して頂いています。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11		1	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1		4					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	3	6	幼稚園の行事で小学生や中学生と交流している。				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13			1	とても丁寧に説明して頂きました。				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14				研修会参加しました。 他の保護者の方と意見交換でき 有意義な時間でした。				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	10	3		1	面談以外で先生方とお話をする機会が ほぼなく、こどもを預けるだけに なっていると感じます。	日々の送迎時に、こどもの様子をお伝え してはいるが、子育てサポートのない曜 日に移動されたことも影響がある。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2		1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	2		2	いつも優しく接して下さるようで、 本人も先生方に懐いているようです。				
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	1	5	・いつも弟が楽しく遊ばせてもらって いて、弟もゆらんが大好きです。 ・兄弟同士のイベントはない。	きょうだいへの支援は検討中				
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2		2						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	2		2	日誌は見せてくださるが、一読するだけなので子どもの様子を把握しきれない。	写真を撮られる方もいらっしゃるので、お伝えする。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2		5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				・「水曜日ゆらんこ！」と楽しみにしています。 ・幼稚園の行事よりも優先するくらい楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12		1	1	おやつ作りや公園遊びなど、活動も様々で、とても満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	あかしゆらんこクラブ		公表日 2026年 2月 5日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準以上に加配要員も配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7		2階なので階段があるが、必要があれば入室の介助をする
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日清掃及び消毒をおこない清潔を保つようにしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		相談室を使っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年評価してもらっている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		今はしていないが、法人として検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内研修を実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムの公表をおこなっている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			支援開始前には必ず打ち合わせをしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			終了後には必ず振り返りを職員全員で実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			毎日日誌を記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			最長でも6ヶ月ごとにモニタリングをおこなっている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			必ず管理者と児童発達支援管理責任者が出席している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			連携できる体制を整えている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3			こども部会に参加したり、研修会に参加している
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7				公園で遊んでいる
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				子育てサポートの時間を利用して、こどもの状況を保護者と伝え合っている
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7				ペアレントトレーニングを実施している
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				契約時等に必ず面談をして丁寧に伝えている	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				モニタリングを事前に提示し、面談で意見を求めている	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7				支援計画の更新時には必ず面談をし保護者の同意を得ている	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				子育てサポートの時間を使って相談に応じている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		「リフレッシュタイム」と称して保護者の集まりを定期的におこなっている	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談があった場合迅速かつ適切に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	平日は毎回子育てサポートの時間を持っているので、活動内容等を丁寧に説明し、保護者からの質問にも応えている	今後定期的な通信も検討している
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルをいつでも閲覧できるようにしている	今後保護者も含めた災害時訓練も行う予定
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		契約時に確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時に保護者を通じて確認している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	支援計画面談時に説明し、安全計画をいつでも閲覧できるようにしている	家族には、改めての周知をしていない 今後周知する予定
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		職員会議でできるだけたくさんの方例を共有し、再発防止に向けた方策を検討している	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あかしゆらんこクラブ		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 8日		2025年 10月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 12月 4日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な職員が揃っている(継続年数が長い)	子どもそれぞれのニーズに合わせて、個々に関わり支援している	職員が勤務を継続できるように、メンタルヘルスチェックを実施する 自己評価をもとに管理者と面談をおこない悩みなどを聞く
2	子どもが主体	子どもの気持ちを聞き、意見を取り入れたプログラムを実施している	職員研修を重ね、子どもの最善の利益を守る場にした
3	事業所が、駅やバス停に近い場所にある 市の中心部に近い	公共交通機関を利用したの遠足の機会を設けている 公共施設(図書館・明石公園・天文科学館)の利用	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	車による送迎を実施していない		自立通所ができるように支援をしている
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あかしゆらんこクラブ

公表日 2026年 2月 5日

利用児童数

36

回収数

22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	4			仕方のないことですが、もう少し広げればよいと思います。	外遊びもできるだけ実施するようにしている	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1		1			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1		1	こどもが安心して楽しくすごすことができるように個別の支援をしてくださっていて助かります。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21			1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21				1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	3	1		3	うちの子は固定化が合っているので、固定化の方が好ましい。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	3		4	近所の公園で遊んで、地域の子たちと仲良く遊べたなどの報告を頂いています。	公園で地域のこどもと遊んだり、遠足等で地域の方々と触れ合う機会を持っている。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21				1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22					保護者同士の交流の場や、勉強会の機会を作っているため、とても難しいです。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20	1	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19		1		2	送迎時に日常の些細な話を聞いてくださるので、溜め込まずに済みます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	2	1					

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	4				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	3	4	他事業所では、月一などで保護者宛てに活動時の写真が送られてきたりしているが、LINEを設置していただき、連絡等がとてもスムーズになりました。	長期休暇のお知らせなどの手紙は出しているが、今後は通信などの発行を検討している
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	2		3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1		2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1		1		いつも楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1				とても満足しています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あかしゆらんクラブ		公表日		2026年 2月 5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		10人来ると狭く感じる時がある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準以上に加配要員も配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7		2階なので階段があるが、必要があれば入室の介助をする	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日清掃及び消毒をおこない清潔を保つようにしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		相談室を使うこともある		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年評価してもらっている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		今はしていないが、法人として検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内研修を実施している		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムの公表をおこなっている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前には必ず打ち合わせをしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終了後には必ず振り返りを職員全員で実施している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎回日誌を記録している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		最長でも6ヶ月ごとにモニタリングをおこなっている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		行っている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		プログラムをこどもの意見を取り入れて行っている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		必ず管理者と児童発達支援管理責任者が出席している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		連携の体制を整えている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		オープンスクールなどに積極的に参加している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		連携・情報共有に努めている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		今年度卒業者があるので、情報提供する予定
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		こども部会に参加したり、研修会に参加している
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		公園で遊んでいる
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		こども部会に参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に保護者と話す機会が多く共通理解をしている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		毎年ペアレントトレーニングを実施している
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に必ず面談をして、丁寧に伝えている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリングを事前じ提示し、面談で意見を求めている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		必ず面談をし、保護者の同意を得ている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談に応じている

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		リフレッシュタイムと称して保護者の集まりを定期的に行っている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情は今までないが、窓口を設置し周知している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1		今後、通信やHP等での発信を検討している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		ゆらんこまつりに招待したり、フリーマーケットを開催し交流している 水害時の避難訓練を地域住民と合同開催している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		家族と共に災害時避難訓練(災害時伝言ダイヤル)を実施した	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		契約時に確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者を通じて指示を受けている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	支援計画面談時に説明し、安全計画をいつでも閲覧できるようにしている	家族には、改めての周知をしていない 今後周知する予定
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットは、できるだけ多数の事例を挙げるように心がけている 職員間で共有し再発防止に向けた方策を検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修を積極的に受けている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		十分に説明をして個別支援計画に記載している		